

えがお きらり

～いまここから未来に向かって～



ーも く じー

はじめに

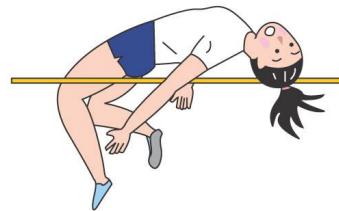
○資料集の活用にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	①
○学習活動案の構成について・・・・・・・・・・・・	②
○子どもの健やかな育ちのために・・・・・・・・・・	③
○アイスブレイクの部屋・・・・・・・・・・・・・・・・	⑧



○学習活動案編

1 目標やルールをつくれるようになってほしいな 〈こんな学級にしたいな〉(小学校～高等学校)・・・・・・・・	1
2 自分がどんな友だちを求めているか知ってほしいな (1) 〈10人の親しい人々〉(小学校)・・・・・・・・	3
(2) 〈友だちランキング〉(小学校～高等学校)・・・・・・・・	5
3 お互いに助け合う気持ちを持ってほしいな (1) 〈こんな時、どうする?〉(小学校)・・・・・・・・	8
(2) 〈コピーゲーム〉(小学校～中学校)・・・・・・・・	10
(3) 〈傷付ける言葉をなくすために〉(中学校～高等学校)・・・・・・	14
4 自分を大切にする気持ちを持ってほしいな (1) 〈「あたたかい」言葉〉(小学校)・・・・・・・・	16
(2) 〈わたし発見〉(小学校～高等学校)・・・・・・・・	18
(3) 〈わたしが小さかったころ〉(小学校～高等学校)・・・・・・	23
(4) 〈わたしはわたしが好きです。なぜならば・・・〉 (小学校～高等学校)・・・・・・・・	25
5 他人を大切にする気持ちを持ってほしいな (1) 〈じょうずな聴き方ゲーム〉(小学校)・・・・・・・・	27
(2) 〈感謝の気持ちを込めて〉(小学校～中学校)・・・・・・・・	29
(3) 〈待ち合わせ〉(小学校～高等学校)・・・・・・・・	33
(4) 〈トラスト・ウォーク〉(小学校～高等学校)・・・・・・・・	36
6 いじめやもめごとを解決しようとする姿勢を身に付けてほしいな (1) 〈いじめのない学級を目指して〉(小学校～中学校)・・・・・・	37
(2) 〈わたしが見ました〉(小学校～中学校)・・・・・・・・	43
(3) 〈あなたならどうする〉(中学校～高等学校)・・・・・・	46
(4) 〈いじめをなくすために〉(中学校～高等学校)・・・・・・	48

7	自分の思いをしっかりと伝えられるようになってほしいな	
(1)	〈「サワヤカ」さんになろう〉(小学校)	51
	トピック：自尊感情の育成につながるアサーション	52
(2)	〈じょうずな断り方〉(小学校～中学校)	56
(3)	〈アサーティブな自分になろう〉(中学校～高等学校)	60
8	自分を理解してほしいな	
(1)	〈気持ちの言葉さがし〉(小学校)	65
(2)	〈いままでのわたし、いままでの生き方〉(小学校～高等学校) . .	67
(3)	〈すごろくで話そう〉(小学校～高等学校)	70
(4)	〈自分成長〉(中学校～高等学校)	73
	トピック：人間関係づくりをベースとした学習の進め方(一例)	75
9	「権利」について知ってほしいな	
(1)	〈必要なもの〉(小学校～中学校)	76
(2)	〈「高知県こども条例」について学ぼう1〉(小学校～高等学校) .	78
(3)	〈「高知県こども条例」について学ぼう2〉(小学校～高等学校) .	80
(4)	〈権利について学ぼう1〉(小学校～高等学校)	82
	トピック：「子どもの権利条約」について知ろう	83
(5)	〈権利について学ぼう2〉(小学校～高等学校)	84
	○資料編	
	・【子どもの権利条約】 (ユニセフ訳)	87
	・国連子どもの権利宣言 全文訳(1959)	90
	・高知県こども条例	92
	・グループづくり「動物園は大騒ぎ」用イラスト	95
	・グループづくり「みんなで絵合わせ」用イラスト	96
	○引用・参考文献等一覧	97
	○人権教育資料集(子どもと人権)作成委員会	99



資料集の活用にあたって

- 1 この資料集は、学校の先生方の協力をいただき、すべての学校で活用できる参加体験型学習の学習活動案集として作成しました。
- 2 この資料集は、人間関係づくりと「権利」について学習できるような構成としています。本編は学習活動案編、資料編の2部構成となっています。また、「権利」について学ぶ活動では、「高知県こども条例」や「児童の権利に関する条約」（以下「子どもの権利条約」とする。）などを扱っています。
- 3 この資料集の学習活動案編は、「子どもに身に付けさせたい力」ごとの構成になっています。それぞれに、身に付けさせたい力をはぐくむための様々な活動を取り入れています。その活動と人権教育のねらいが、どのようなところで重なっているのかについては、指導観のところで説明をしています。
- 4 学習活動案については、どの校種における学習に適しているのかわかるように、「一もくじー」に適応校種を示しています。他の校種で活用する場合は、ねらいや活用資料を子どもの実態に合わせてアレンジしてご活用ください。
- 5 学習時間や内容については、授業者の工夫により設定できるように、柔軟性を持たせた形にしています。また、発展例と組み合わせることが望ましいテーマに関しては、発展例を紹介しています。
- 6 各テーマの構成は、以下のようになっています。
1つのテーマに「指導観」「ねらい」「展開」を示しています。またテーマによっては、「用意するもの」や「発展例」をあげています。
資料編では、「子どもの権利条約」「国連子どもの権利宣言」「高知県こども条例」を掲載しています。必要に応じてご活用ください。
- 7 この資料集では、人権問題を解決するための集団づくりや人権感覚の育成を通して、子どもの人権問題を解決するための力を身に付けさせることをねらいとしています。そのため、人間関係づくりに関わる活動のみに留まることがないようにご注意ください。



学習活動案の構成について

この資料集で掲載している学習活動案については、指導観、ねらい、展開、用意するもの、発展例などについて、下図のように配置しています。

- 活動内容と身に付けさせたい力を紹介。
- 学習活動のタイトル。
- 〈必要なもの〉
- 1 指導観：この活動は「欲しいもの（あればいいもの）」「必要なもの」を考える中で、「人権とは何なのか」という概念を育成することをねらっており、この力は人権教育において身に付けさせたい人権の意義・内容や重要性を理解するきっかけとなるものである。
 - 2 ねらい：お互いに価値観の違いがあることを理解し、相互理解を深めようとする態度を育て、人間にとって必要なものは何かを考える。

3 展開例：

学習活動	支援・留意点
1 4～5人のグループをつくる活動を行う。	○グループをつくらせる。
2 ルールとやり方の説明を聞く。	○「必要なもの」の活動についての説明をする。 ・ワークシートを配付する。
3 ワークシートを見て「○」「×」をつける。	○人と違っていいので、自分で考えて印を付けるように助言する。
4 グループで話し合う。 ・個人が選んだものを紹介し合う。	○友だちの考え（発表）をしっかりと聞き、認め合うように助言する。
5 生活するために（誰にとっても）必要なものは何か、グループで5つ選ぶ。	○なかなか決まらないグループがあるので、時間に余裕を持たせておきたい。
6 話し合ったことを発表する。	○発表者の拍手を送らせたい。
7 振り返りを行う。	○選ぶ内容に違いがあることに気付かせ、人間にとって何が必要なものを理解させたい。

4 用意するもの：ワークシート、筆記用具

- 活動を行ううえで、必要なものを紹介。
- 5 発展例：選択するものの中であと1つ付け足したら何かを、グループで話し合っても良い。
低学年では最初に選ぶ数を固定した方が選びやすい。

活動の幅を広げる発展例を紹介。

アイスブレイクの部屋

ここでは各活動に入る前に、活動を行うためのグループづくりに使える活動や「心と体ほぐし」に使える活動をまとめています。各単元のねらいや活動内容に合わせてお使いください。

なお、動きを伴う活動を行う場合には、まわりの環境や子どもの動きなどに十分配慮してください。



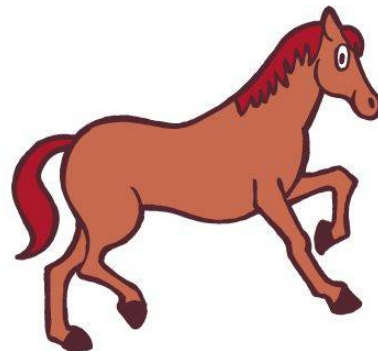
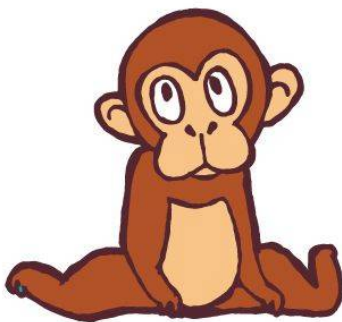
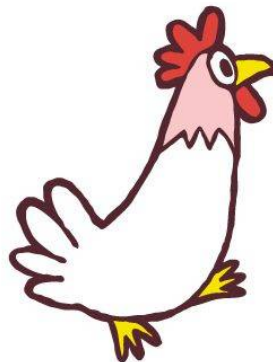
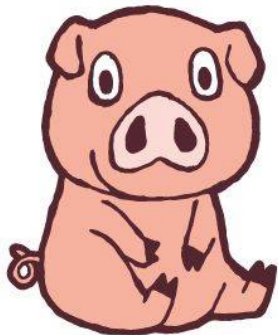
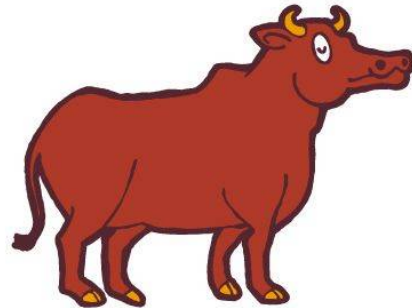
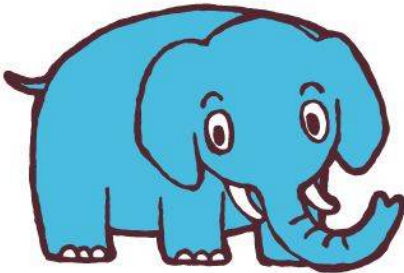
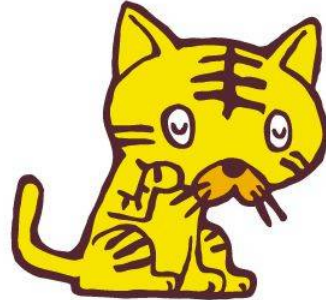
※アイスブレイクとは、参加者の緊張状態をほぐすための活動のことです。

活動名	内 容 ・ 手 順
バースディライン	①話をせずに、誕生日順に輪になって並ぶように指示する。 ※1月1日を先頭にして並ばせる。 ②輪ができれば誕生日を確認する。 ③この並びの順で、つくりたいグループ数までの数字を、1から順に1・2・3・4、1・2・3・4…と言わせ、これを繰り返す。 例：4グループつくるのであれば、1・2・3・4、1・2・3・4…と繰り返してもらう。 ④同じ数字の人が集まり、グループをつくる。
お寿司屋さんへ行こうよ	①教師のあとについて学習者に同じことを言うように指示する。 ②「お寿司屋さんへ行こうよ」→「お金だって持ってるもん」→「お腹だってすいてるもん」→「友だちだっているもん」（2～3回繰り返す）。 ※教師がジェスチャーを交えて発声し、フレーズごとに、学習者が後に続けて言う。 ③「あっ」と言って、あちらこちら（3方向くらい）を指さす。 ④「マグロ」「エビフライ巻き」などお寿司の名前をどれか一つ言い、文字数に合わせてグループをつくらせる。 ※「マグロ」なら3人組、「エビフライ巻き」なら7人組をつくる。
ジャンケンゲーム	①勝ち、負け、あいこいずれになってもジャンケンをする人を替えることを説明する。 ②学習者に隣の人と1回ジャンケンを行い、次には別の人とジャンケンを行うように指示する。 ③先頭の場所を決めておき、3回勝った人から順に並ばせる。 ※人数が少なくなれば、同じ人とジャンケンをして良いことを伝える。 ④終了すれば円になり、つくりたいグループ数までの数字を順に言わせる。 例：4グループつくるのであれば、1・2・3・4、1・2・3・4…と繰り返してもらう。 ⑤同じ数字の人が集まり、グループをつくる。

動物園は大騒ぎ	①動物の絵の描かれたカードを、箱などの中に入れておき、生徒に1枚ずつ引かせる。 ②お互いにカードは見せずに、鳴き声やポーズで仲間を集めさせる。 ③集まったら、お互いにカードを見せ合って確認をさせる。 ※つくりたいグループ数分、動物カードを用意しておく。 ※カード例は、P95に掲載しています。
時を数えて	①「ストップ」の声がかかるまで、数えた数字を忘れないように指示しておく。 ②「はい」と言って、自分のペースで30秒を数えさせる。 ③30秒たったところで「ストップ」をかける。 ④数えた数字の少ない順で円をつくらせる。 ⑤円になったあと、この並びの順で、つくりたいグループ数までの数字を、1から順に1・2・3・4、1・2・3・4…言わせ、これを繰り返す。 例：4グループつくるのであれば、1・2・3・4、1・2・3・4…と繰り返してもらう。 ⑥同じ数字の人が集まり、グループをつくる。
ノアの方舟 (グループ)	①床の上に新聞紙を1枚開いておき、その上にグループの者全員が乗る。 ②グループで代表を決め、代表が教師とジャンケンをする。 ③ジャンケンをして負けると、そのグループは新聞紙を半分に折り、その上に全員が乗る。乗り方は自由だが、床に体が着かないようにさせる。 ④これを繰り返すが、新聞紙に乘れなくなり、床に足がついたらおしまいとする。
シールでグループ	①学習者は円になり目を閉じるように指示する。 ②学習者の額にシールを貼る（シールは4色以上で、1人1枚ずつ用意し、隣同士が同じ色にならないようにする。つくりたいグループ数分の色を使う）。 ※シールを貼るときは、一声かけて貼るようにしたい。 ③教師の声がけで学習者は目を開く。 ④無言で同じ色同士でグループをつくらせる。 ※この時自分のシールの色は見えないので、他の人同士をくっつけることによりグループができる。
みんなで絵合わせ	①学習者に同じ絵を切ったピースを1枚ずつわたす。 ②学習者に同じピースを持っている人を探そうに指示する。 ③全員がグループに分かれたら終了する。 ※つくりたいグループ数ピースを事前に作成しておく。 ※絵の例は、P96に掲載しています。

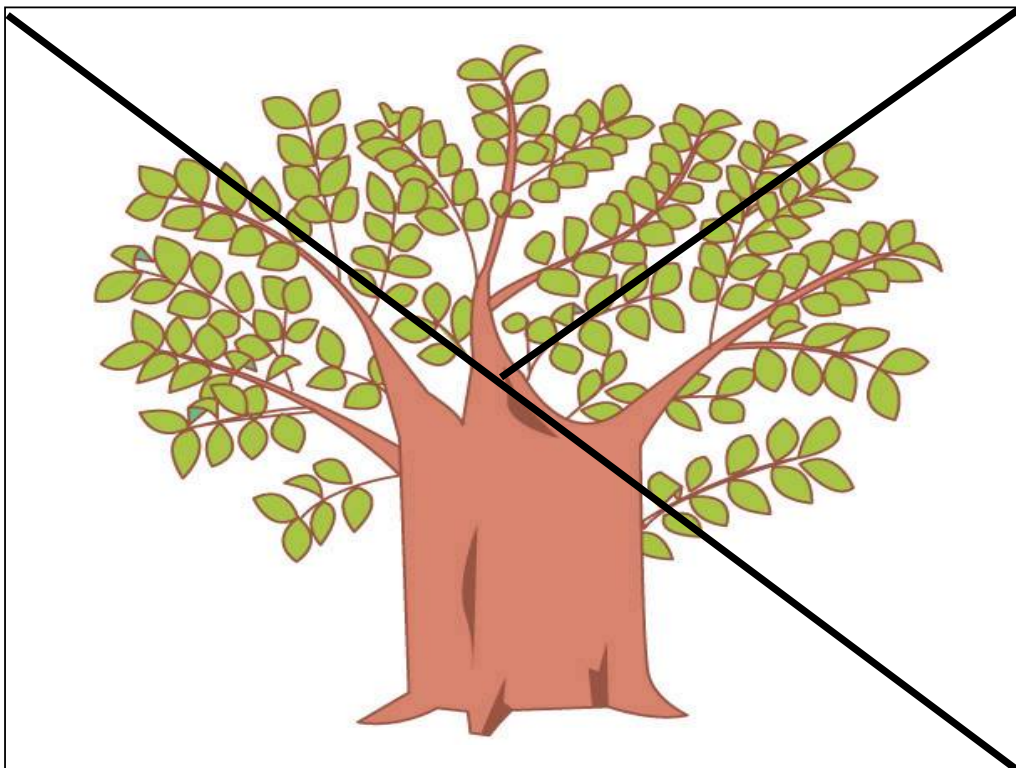
参考：「国立乗鞍青年の家 プログラム・アクティビティ実践集」 国立乗鞍青年の家
「わたし 出会い 発見 自分らしさを発見し、豊かな仲間づくりをめざす教材・実践集」 大阪府同和教育研究協議会
「エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集」 図書文化社

グループづくり「動物園は大騒ぎ」用イラスト

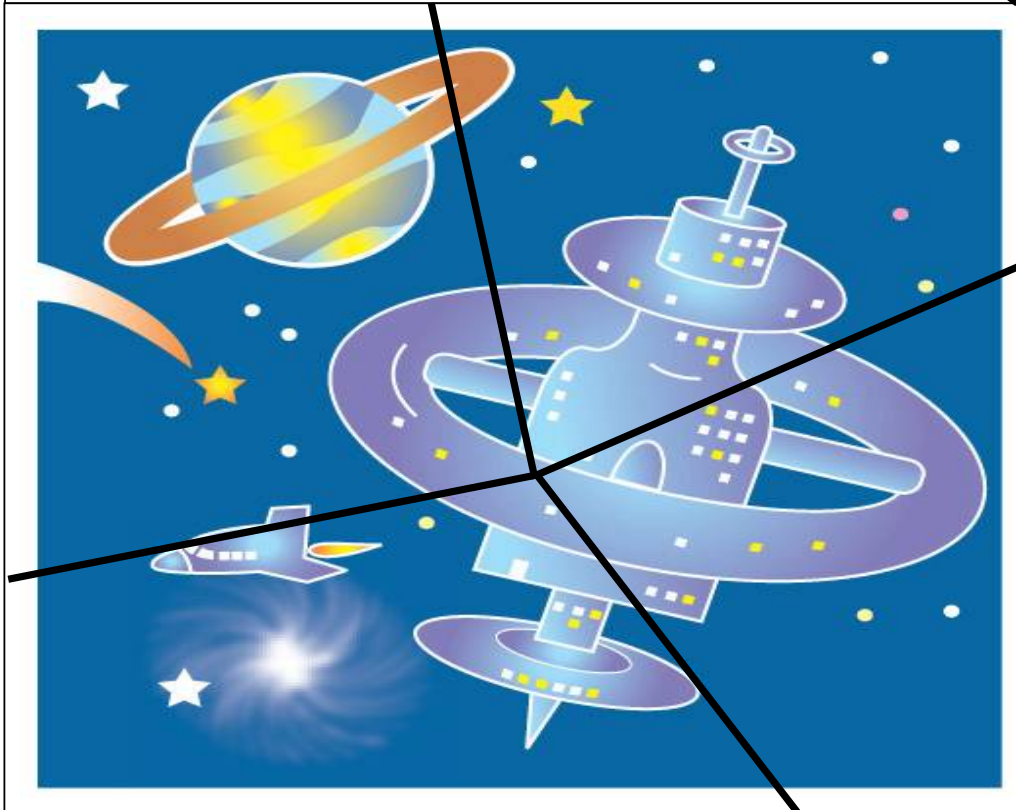


アイスブレイクの部屋（P⑧）の中の、「動物園は大騒ぎ」で使う動物カード例です。

グループづくり「みんなで絵合わせ」用イラスト



3
人
グ
ル
ー
プ
用



4
人
グ
ル
ー
プ
用

※つくりたいグループ数に合わせて線を引いてください。
アイスブレイクの部屋（P⑨）の中の、「みんなで絵合わせ」で使う絵の例です。

引用・参考文献等一覧

1. 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議
「人権教育の指導方法等の在り方について〔第一次とりまとめ〕」 平成16年 文部科学省
2. 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議
「人権教育の指導方法等の在り方について〔第二次とりまとめ〕」 平成18年 文部科学省
3. 長野県・長野県教育委員会
『『わたし』と『あなた』そして『みんな』の人権 人権教育指導の手引き ～ヒューマン ライト イン なかの（社会教育編）～』 2001
4. 兵庫県人権・同和教育研究協議会
「あなたの豊かな人生のために じんけんスキルブック」 2001
5. 國分康孝監修、岡田弘編集
「エンカウンターで学級が変わる グループ体験を生かした楽しい学級づくり」 中学校編 1996 図書文化社
6. 國分康孝監修、林伸一・飯野哲朗・築瀬のり子・八巻寛治・國分久子編集
「エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集」 1999 図書文化社
7. 監修：國分康孝、編集・出演：正保春彦、出演：片野智治・明海大学正保ゼミのみなさん
「エンカウンター CD-ROM 3分で見るエクササイズ×20例」 2004 図書文化社
8. 國分康孝監修、岡田弘編集
「エンカウンターで学級が変わる ーグループ体験を生かした楽しい学級づくり」 小学校編 1996 図書文化社
9. 小林正幸・相川充著、国分康孝
「ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 小学校ー楽しく身につく学級生活の基礎・基本」 1999 図書文化社
10. 国立乗鞍青年の家
「国立乗鞍青年の家プログラム・アクティビティ実践集」 平成14年度版
11. 手塚郁恵、刀根正典
「新版 学級経営実践マニュアルー教室はよみがえる」 1989 小学館
12. 高知県教育委員会
「人権教育指導資料（学校教育編）『Let'じんけん 改訂版』」 平成17年
13. 高知県教育委員会
「人権教育指導資料（学校教育編）『Let'じんけんーわたし ひらく 未来ー』」 平成12年
14. Dr.Wichele Elliott/Jane Kilpatorick 平野裕二訳
「いじめに立ち向かう キッドスケープ・トレーニング・ガイド」 1997 アドバンテージサーバー
15. 総務庁青少年対策本部 「日本の子供と母親ー国際比較」 1987 大蔵省印刷局
16. 松下一世 「いじめをなくし、心をつなぐ」 2001 明治図書
17. 國分康孝・國分久子監修、米田薫他編集
「育てるカウンセリングによる教室課題対応全書5 いじめ」 2003 図書文化社
18. 安達昇 「人間関係を豊かにする授業実践プラン50ー自分を見つめ好きになる本 教育技術MOOK」 1997 小学館
19. 高校生の人権感覚を育むLH教材づくり研究会
「ホップ ステップ ジャンプ ～人権教育LH指導案集～」 2005
20. (財)日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp> 2005/11/10
21. (財)日本ユニセフ 「開発のための教育 地球市民を育てるための実践ガイドブック」 1994

22. (財) 日本ユニセフ 「子どもの権利条約」カードブック 1997
23. スーザン・ファウンテン
「わたしの権利みんなの権利 It's Only Right! 『児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)』を学ぶための実践ガイド」 1993
24. 高知県教育委員会こども課
<http://www.pref.kochi.jp/~kodomo/johrei/johrei04086.html> 2005/7/2
25. 池田 寛
「学力と自己概念 一人権教育・解放教育の新たなパラダイム」 2000 解放出版社
26. 国連子どもの権利宣言 <http://www.crp-j.org/data/sengen.html> 2005/7/2
27. 平木典子編
「現代のエスプリ アサーション・トレーニング その現代的意味」 450 2005 至文堂
28. 森田ゆり 「エンパワメントと人権」 1998 解放出版社
29. 平木典子 「アサーショントレーニング ーさわやかな〈自己表現〉のためにー」 1993 日本・精神技術研究所
30. 沢崎俊之
<http://www.nyc.go.jp/youth/14sou/bun7.pdf> 2005/12/17
31. 学校教育相談のつかい方・つくり方
http://www.pat.hi-ho.ne.jp/nobu-nisi/soudan/3_riron.HTM#asasion 2005/12/17
32. 森 実
「参加型学習がひらく未来 『人権教育10年』と同和教育」 1998 部落解放・人権研究所
33. ERIC 「わたしと あなたと みんなとできるワークシート 自尊・他尊・共尊の人間関係づくり」
ERIC 国際理解教育センター
34. ERIC 「人権教育ファシリテーター・ハンドブック基本編 参加型『気づきから築きへ』プログラム」
2000 ERIC 国際理解教育センター
35. ドロシー・ロー・ノルト レイチャル・ハリス 石井千春：訳
「子どもが育つ魔法の言葉」 1999 PHP研究所
36. 人権を教える <http://www.unic.or.jp/centre/human00.htm> 2005/10/5
37. 高知県 「人権に関する県民意識調査」 【結果のあらまし】 平成 15 年

イラスト：小林正樹 年中行事カットCD-ROM 2003 マール社
福田令子 春野町立春野中学校教諭
高知県教育委員会情報推進課イラスト集

人権教育資料集（子どもと人権）作成委員会

○平成16年度 人権教育資料集（子どもと人権）作成委員会

石村 裕子（南国市立大篠小学校教諭）
福岡 裕人（南国市立後免野田小学校教諭）
田中 茂樹（南国市立香長中学校教諭）
上村珠津子（高知県立高知若草養護学校教諭）
野中 昭良（高知県立城山高等学校教諭）



○平成17年度 人権教育資料集（子どもと人権）作成委員会

有光 民（高知市立初月小学校教諭）
塚地 久美（高知市立一宮小学校教諭）
福岡 裕人（南国市立後免野田小学校教諭）
福田 令子（春野町立春野中学校教諭）
上村珠津子（高知県立高知若草養護学校教諭）
野中 昭良（高知県立城山高等学校教諭）



人権教育資料集4（子どもと人権）

えがお きらり

～いまここから未来に向かって～

編集・発行

高知県教育センター

高知市大津乙181 TEL 088-866-3890

発行年月日

平成18年3月

印刷所

株式会社美統

高知市瀬戸39番地1 TEL 088-841-4166

えがお きらり

～いまここから未来に向かって～

